

## Ⅲ 第5回航空／海上（合同）更改専門部会の結果報告

平成27年8月5日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社





# 1. 第5回更改専門部会議事要旨

## 第5回 航空・海上（合同）更改専門部会 議事要旨

1. 日 時 : 平成27年6月4日（木） 15:00~16:30
2. 場 所 : ソリッドスクエア ホール（ソリッドスクエア地下1階）
3. 出席者 : 別紙のとおり
4. 議事の概要
  - (1) 開会
    - 部長である東京税関山根総務部長が開会を宣言。
  - (2) 江上取締役挨拶
    - センター江上取締役より、更改専門部会の開催にあたり挨拶が行われた。
    - （続いて事務局より、配布資料の確認と議事に関する注意事項の説明、委員交代の紹介。）
  - (3) 第6次NACCS詳細仕様「中間報告後における追加検討状況」について
    - 平成27年5月15日に開催された第17回ワーキンググループにおいて取り纏められた「第6次NACCS詳細仕様中間報告後における追加検討状況」（案）について、松田企画部長より、資料に基づき説明が行われた。説明後、残された今後の課題に関し意見・要望として以下の発言があったが、提案内容については満場一致で了承された。
  - (4) 今後の予定（スケジュール）について
    - 詳細仕様検討の今後の進め方について、事務局（センター）より、資料に基づき説明があり、来年2月に更改専門部会を開催して「詳細仕様の最終報告（案）」を取り纏めること等が了承された。
5. 意見・要望等の概要
  - ◆ 第6次NACCS詳細仕様「中間報告後における追加検討状況」について
    - 資料3 マイナンバー（法人番号）について、これまでの議論にもあるとおり、通関業者としては大きな懸念を持っている。法人番号を輸出入者コードとして輸出入申告の際に入力をするという制度は理解できるが、NACCSに登録されていない法人番号も全て入力しなければならないことの負担は大きい。現状、JASTPROコードを入力した場合、NACCSで番号の存在チェックが行われ、かつ、社名・住所も自動補完されるが、NACCSに登録が無い法人番号を入力した場合、その番号の存在チェックも無く、また、社名等の自動補完も無いことから誤入力等の懸念も増加し、通関士の審査にかかる負担が大きい。

法人番号の取扱いに関しては、今後も引き続き検討する案件とされているが、法人番号がNACCSに登録が無いものに関しては任意入力とするなど柔軟な運用を是非検討していただきたい。（委員）

⇒ 法人番号の入力については、関税局・税関の方針であり、やはり入力をお願いせざるを得ないと思う。一方、弊社としては、現行NACCSに登録されている輸出入者コードに係る情報を法人番号と上手く連携することによって、これまでと同様のサービスを提供していきたいと考えており、各方面と協力して登録情報も拡大したい。具体的にどのような対応が図れるのか、関税局・税関や関係者と相談しながら、今後のワーキンググループで皆様方に提案していきたいと考えている。

ご懸念されている法人番号の誤入力等に対しては、例えば、入力された番号体系のチェック機能を設けること、或いは、国税庁が公開する情報等を利用しながらNACCSにおいて存在チェックをかけるといった手段を取ることも考えられる。いずれにしても、通関業者の皆様の負担を軽減できるような措置について引き続き検討していきたい。（事務局）

○資料 2 出港前報告制度に係る業務仕様の見直しについては、サブワーキングを中心に検討を進めていただいているが、当該検討において現在の「出港前報告一覧照会（IML）」業務の照会者権限の付与の考え方に疑問がある。第6次NACCS更改時にはしっかりと検討を行っていただきたいと考えているが、現行NACCSにおいても必要な見直しをお願いしたい。（委員）

⇒ 現在のIML業務の照会可能者については、導入当初において関係者の皆様と調整した結果を反映したものと考えているが、サブWGでの検討において、委員の方から疑問があるとの意見をいただいていることから、今後、サブWG等の場でしっかりと整理したいと考えている。また、その整理した結果も踏まえ、現行NACCSにおいて対応することも検討したい。

○資料 4 外国船社の場合、海外店社においてシステム開発を行う必要があるため、業務仕様書とEDI仕様書については、出来れば（案）ベースの段階から英語版の提供をお願いしたい。（委員）

⇒ 船会社関連業務に関しては、英語版の業務仕様書、EDI仕様書についてのご要望は従前からあることは承知しており、第6次NACCSでは英語版も提供したいと考えている。提供時期については、最終の日本語版を提示する時期に合わせて、来年3月を予定している。日本語版が確定しないと英訳作業を進めることは難しいが、ご要望も踏まえ、先行して提供できる部分あれば提供させていただく。なお、英訳化にあたっては、文言の定義等について一緒に検討させていただくこともあると考えており、是非、ご協力をお願いしたい。（事務局）

以 上